

9 横浜市総合リハビリテーションセンター地域・在宅巡回事業

障害児・者の在宅生活をより豊かなものにするため、専門職を家庭に派遣し、リハビリテーションサービスの提供を行うとともに、訓練終了後のフォローアップを行いました。また、区福祉保健センターが実施する乳幼児健診と連携した療育相談事業や、老人保健法による機能訓練事業など、関係機関が実施する事業に専門職の技術協力を行いました。これらの事業実施にあたっては、各福祉機器支援センターと協力し、利用者のニーズに即したサービスの提供に努めました。

主な事業内容は次のとおりです。

(1) 在宅リハビリテーション

在宅生活をする上での指導、訓練等が必要な重度障害児・者の家庭に専門職を派遣し、障害状況や生活環境の評価と専門的技術や情報の提供を行いました。また、在宅リハビリテーション事業の拡充を図るため、地域ケアプラザ（地域包括支援センター）、訪問看護ステーション等との連携を強化し、多様化するニーズへの対応を図りました。

ア 評価訪問

区福祉保健センター等関係機関と合同で、在宅重度障害児・者の家庭を医師、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカー等の専門職が訪問し、心身の機能や生活状況、住環境等の評価を行うとともに、在宅での生活を維持、充実させるためのリハビリテーション計画を作成し、専門的技術や情報の提供を行いました。

(7) 月別実施状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	昨年度
実施人数	111	98	131	102	131	107	116	97	106	79	92	86	1,256	1,444

(イ) 区別内訳

(人)

鶴見区	94	旭区	60	戸塚区	57
神奈川区	91	磯子区	66	栄区	57
西区	21	金沢区	93	泉区	134
中区	53	港北区	110	瀬谷区	52
南区	51	緑区	65		
港南区	98	青葉区	48		
保土ヶ谷区	72	都筑区	34	合計	1,256

イ 専門スタッフによる訪問指導・訓練

評価訪問や横浜市障害者・高齢者住環境整備事業において、専門的な支援が必要と判断された場合、理学療法士や作業療法士をはじめとする専門職を家庭に派遣し、リハビリテーション計画に基づいた身体機能や日常生活動作の訓練、家族への介護介助法の指導、住環境整備に関する助言等、リハビリテーションサービスの提供を行いました。

(7) 訪問指導・拠点別実績 (人)

担当センター	合計	昨年度
リハセンター	1,582	1,827
中山福祉機器支援センター	490	587
反町福祉機器支援センター	703	613
泥亀福祉機器支援センター	817	865
合 計	3,592	3,892

(イ)訪問指導・訓練職種別実績 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
医師	0	2	1	0	2	0	0	0	0	1	1	2	9
理学療法士	138	117	142	126	116	134	134	118	93	95	195	119	1,527
作業療法士	102	106	133	119	95	117	85	125	123	115	174	115	1,409
ワーカー・保健師	14	17	17	12	12	6	15	18	19	6	6	14	156
工学技師	24	22	24	34	18	27	19	29	30	34	9	15	285
建築士	15	15	16	21	10	17	18	20	20	16	8	29	205
その他 (生活支援員等)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	293	279	333	312	253	302	271	310	285	267	393	294	3,592

(2) 療育相談

障害の早期発見、早期療育を図るため、乳幼児健診において専門的な評価・診断が必要とされた乳幼児を対象に、区福祉保健センターと合同で療育相談を実施し、医師、ソーシャルワーカー等の専門職を派遣しました。

※療育相談の実施状況については、「横浜市総合リハビリテーションセンター相談支援事業 (1) 発達障害部門」参照

(3) 関係機関への技術援助

地域におけるリハビリテーション資源を充実し、適切なりハビリテーションが提供できるよう、また、関係機関とのネットワーク作りを図るため、関係機関や施設への専門職による技術援助を実施しました。

※関係機関への技術援助の実施状況について、成人関係は「横浜市総合リハビリテーションセンター相談支援事業 (2) 中途障害部門」、小児関係は「横浜市総合リハビリテーションセンター相談支援事業 (1) 発達障害部門」参照